

昨年11月に開催された議会報告会の様子



【中央公民館】



【山田公民館】



【黒土公民館】



【合河公民館】

議案の概要

平成24年第5回定例会は、12月3日から12月20日までの18日間の会期で開催されました。

本定例会には、市長より条例1件、予算3件、その他の案件6件の合わせて10議案が提出されました。それぞれ所管の常任委員会で慎重に審査し、原案どおり可決されました。

なお、先の9月議会で、市の重要な計画が議決事件に追加されたのを受け、今回初めて「総合計画」と「農村振興基本計画」2件の議案が提出されました。各委員会で審査をした結果、議員より様々な意見が出て、大幅な議案訂正により可決しました。

また、議員より「住宅リフォーム助成制度の創設を求める意見書案」が提出されましたが、継続審査となりました。



市の将来像を示す「第5次総合計画（基本構想及び前期基本計画）」を可決しました!!

総合計画は、目指すべき都市の将来像などを掲げ、それを実現していくために必要な政策等を体系的に示す市の最上位計画であり、平成25年度から10年間を計画期間としています。

総務委員会に付託されましたが、この計画は行政運営における全分野の政策の基本指針となるため、総務委員以外の議員も参加して活発な議論が行われました。

委員会での審査を受け、市長は多岐にわたり議案の訂正を行いました。

訂正後の議案については、賛成多数で可決されました。

農業を取り巻く社会情勢に対応し、様々な課題を解決するための「農村振興基本計画」を可決しました!!

農村振興基本計画は『豊前市総合計画』を上位計画とし、農村整備を長期的な視野に立って、総合的・計画的に推進していくため、10年間を計画期間として策定されています。

付託された産業建設委員会では、これからの農村のあり方や農業振興について、活発な議論が行われ、審査の結果、市長が委員会での指摘事項を踏まえ、数項目について議案の訂正をすることになりました。

訂正後の議案については、全会一致で可決されました。

図書館の指定管理については執行部提案のとおり可決!!

前回の図書館指定管理者指定の審査において、公募による選定を行うべきだと提言していたことを受け、今回は一般公募による選定を行ってまいりました。委員会で慎重に審査した結果、前回と同様に特定非営利活動法人「プロジェクト・ボダイ」を指定することに、全会一致で可決されました。

意見書案は継続審査に!!

福岡県に住宅リフォームに対する助成制度の創設を求める意見書(案)でしたが、「まず、市としての取組みを市長に要請すべきではないか」「県下市議会議長会として取り組んでどうか」などの意見が出て、もう少し議論する必要があるということで、継続審査となりました。

平成24年12月定例会 議案審議結果

「○」…………賛成 「●」………反対
 「議長」……議長職のため表決に参加しない

議案 番号	議案等の名称	審議 結果	黒	平	安	鈴	福	鎌	岡	榎	尾	山	爪	宮	磯	渡	秋	賛 成	反 対
			江	田	江	木	井	田	本	本	尾	崎	丸	田	永	邊	成		
			哲	精	千	正	昌	晃	清	憲	満	廣	裕	精	優	一	茂		
			文	一	賀	博	文	二	靖	憲	治	美	和	一	二	信			
議案 第77号	豊前市下水道条例の一部改正について	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
議案 第78号	指定管理者の指定について (豊前市立図書館)	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
議案 第79号	豊前市総合計画基本構想及び前期基本 計画の策定について	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議長	○	○	13	1
議案 第80号	豊前市農村振興基本計画の策定に ついて	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
議案 第81号	福岡県市町村災害共済基金組合規約の 変更について	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
議案 第82号	福岡県市町村災害共済基金組合の解散 について	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
議案 第83号	福岡県市町村災害共済基金組合の解散 に伴う財産処分について	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
議案 第84号	専決処分について(平成24年度豊前市 一般会計補正予算 第2号)	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
議案 第85号	平成24年度豊前市一般会計補正予算 (第3号)	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
議案 第86号	平成24年度豊前市バス事業特別会計補 正予算(第1号)	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
意見書案 第4号	県として住宅リフォーム助成制度の創 設を求める意見書(案)の提出について	継続 審査	○	○	○	退 席	○	○	○	○	○	○	退 席	退 席	議長	○	○	11	0

※意見書案第4号については、継続審査に対する採決のため、提案議員3名は退席しました。

意見書案4号については、「継続審査」に対する賛否を問いました。

一般質問

そごが聞きたい・なんとかしたい

『新社会』の一般質問



山崎 廣美



尾澤 満治



秋成 茂信



岡本 清靖



安江 千賀夫

【質問項目】

- ① 財政問題
- ② 教育問題
- ③ 豊前市のPR
- ④ 若者の定住促進
- ⑤ 100円バスの試行結果
- ⑥ 今後の豊前市の観光施策
- ⑦ 人口増対策
- ⑧ 養鶏場の環境問題

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いていますので、お気軽にご覧ください。

豊前をPRしよう

尾澤議員 豊前市では、様々なイベントを行っているが、ゆず祭り、さかな祭り、カラス天狗祭り、みなと祭りに対する市からの補助金とそれぞのイベントの来場者数を教えていただきたい。

農林水産課長 ゆず祭りへの補助金は30万円で、来場者は約9千人。さかな祭りに対しては30万円で、来場者は約4千人となっている。

まちづくり課長 みなと祭りへの補助金は2百万円で、イベント会場への来客数は約5千人。カラス天狗祭りに対する補助金は250万円で、来場者は約2万人となっている。

尾澤議員 これらのイベントについては、市が出している補助金の何十倍もの経済効果が出ていると思う。経済効果を考慮し、もう少し補助金を増やせば、もっと波及効果が出ると思うが、いかがか。

総合政策課長 一昨年から事務事業評価を実施しているが、イベント関係については経済効果までを十分反映していると言えない。今後、そうした視点も考えていきたい。

尾澤議員 ゆず祭りですしいキャラクターの「合河柚太郎」がデビューしたようだが、熊本の「くまモン」が百億円を超える経済効果を生み出している。

いる。豊前市も「くぼてん君」や「きょうこちゃん」、「合河柚太郎」などのキャラクターをうまく利用して豊前市をもっとPRしてはいかがか。

総合政策課長 今、ゆるキャラが全国的にブームになっているので、積極的に活用していきたい。

尾澤議員 今、豊前市は神楽に力を入れているので、鬼の面の魔よけキホルダーを作るなど、いろいろ知恵を絞って大いに豊前市をPRしていただきたい。



昨年11月に行われた「合河ゆず祭り」

若者の定住促進に向けて

賃金で、年金や健康保険税を納め、携帯電話や車のローンがあると、結婚はおろか、親元から巣立ちもできない。市の臨時職員の待遇についてお尋ねしたい。

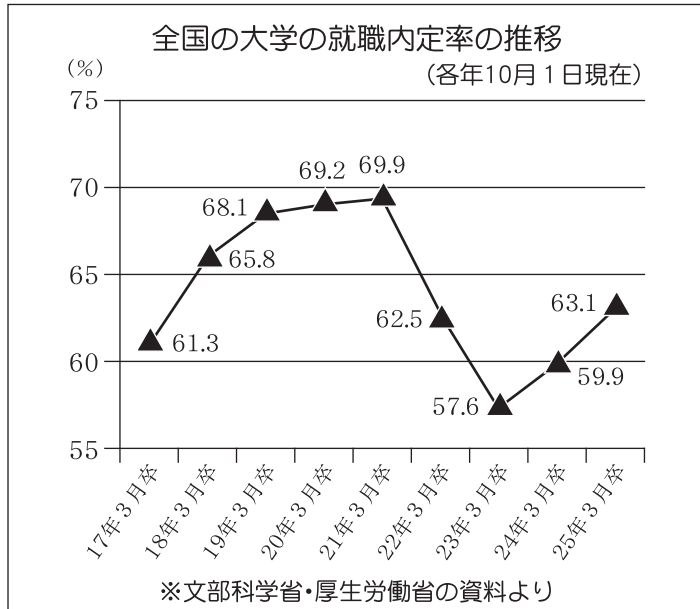
総務課長 一般事務と給食調理員が月額5800円、看護師や栄養士、保育士が6500円となっている。

安江議員 パートの雇用条件は大変厳しいので、まず市が率先して待遇改善を図ってほしい。

今、京築地方は新しい自動車産業の集積地になりつつあるが、雇用の場を確保するために、どのような方策を考えているか、お聞きしたい。

まちづくり課長 小石原地区については約4万1千㎡の拡張、能徳については約8千㎡の用地の確保をして、企業誘致に取り組んでいこうと考えている。また、民間の工場空き地については問合せがあった場合に紹介をしている。

安江議員 本年10月時点の大卒の就職内定率は、九州・沖縄では全国平均よりも10%低いという厳しい状況のようだ。豊前市でも若者の雇用と働く場所の確保が喫緊の課題だと思うが、地元の青豊高校の就職内定率はどういう状況か、教えていただきたい。



今後の観光施策は

岡本議員 平成27年に東九州自動車道が開通するが、豊前市に観光に來れる方々のために、まずインターチェンジ付近に大きな案内看板を設置してはいかがか。また、豊前市の玄関口であるJR宇島駅にも看板を設置してはいかがか。

まちづくり課長 インターチェンジを下りた所については、県と協議しながら、大きな看板を設置したいと考えている。宇島駅については、現在工事中の自由通路の完成後に看板の設置を行いたいと考えている。

なっている。今後、新たな事業が策定された際に改めて要望したい。

岡本議員 求菩提の環境整備の一環として、広葉樹を植えて景観を変えていくことも観光振興の面から必要ではないかと思うが、いかがか。

しながら、もみじなどの広葉樹の植栽を考えていきたい。

岡本議員 農家民泊をするにしても、若者に戻って来てもらうにしても、光通信の整備は不可欠と思うが、いかがか。

財務課長 これについては、国が「光の道構想」という新たな情報通信技術戦略を掲げており、平成27年頃をめどに光の道を完成させる予定になっている。

まちづくり課長 ビジターセンターについては、平成19年度に県に要望していたが、国の事業見直しにより、計画が終了と

岡本議員 市は、求菩提山を中心に観光アピールしていくとのことだが、求菩提山は国定公園に含まれているので、ビジターセンターを建設してはいかがか。



一般質問

そごが聞きたい・なんとかがしたい

『豊明会』の一般質問



鈴木 正博



平田 精一



黒江 哲文

【質問項目】

- ① 市民サービス
- ② 中山間地域の人口対策
- ③ 子育て支援
- ④ 環境問題
- ⑤ 学校教育
- ⑥ 故郷のまちづくり

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いていますので、お気軽にご閲覧ください。

市民サービスへの体制づくり

黒江議員 昨年の議会報告会では市民の不安や怒り、地域の発展への希望を強く感じた。私達はその声をしっかりと受け止め行政の改善に努めることが必要だと思う。そこで、9月の一般質問で、

市民サービスの具体策について副市長は人づくり・職員づくりに向けて頑張りたいと答弁したが、その後の取組みを、お聞きしたい。

副市長 職員は行政としての自覚を持って仕事をするように、意識改革を重視しながら研修や学習をしていきたいと思う。

黒江議員 よく行政は縦割り社会だと言われる。これを改善する仕組みとして、クレーム処理、陳情等の対応、相談業務などを一か所で行う窓口のワンストップサービスを進めて頂きたい。市民も喜び、職員の仕事も効率良く進む上に経費削減に

つながると思うが、いかがか。

総務課長 議員ご指摘の件は、職員配置等の問題があり現状では難しい。それに代わる方法として、行政に精通したフロアマネージャーの配置を考えているところだ。今後也更なる市民サービスの向上に努めていきたい。

黒江議員 市民が地域活動に参加する事や地域ぐるみでイベントを行うといった取組みが、地域コミュニティを作る大切な要素だと思う。市民自らが地域を守るといふ意欲

が、地域の防災や防犯、福祉、まちづくりにつながると思う。そこで地域コミュニティ活性化の必要性について市の考えをお聞きたい。

総合政策課長 やはり行政が全て主導するのではなく、地域住民の考えや政策の中で地域の活性化に取組みたいと思う。また、公民館の活性化も地域づくりに大きな効果があると考える。

黒江議員 行政のサポートもあり、各種団体においても活動的な取組みが行われている。しかしそれぞれ横のつながりにおいて弱い部分があると感じる。今後、市民と行政、私自身も一緒になって魅力ある豊前市を築いていきたいと思う。



市民健康課の窓口

中山間地域の活性化に向けて

が、不動産ネットに情報提供するなど、もっと広報が必要だと思うが、どうか。

総合政策課長 不動産ネットへの掲載については、検討したい。今後もホームページや定住促進のパンフレット等で広報していきたい。

平田議員 またこの地域は、トイレの水洗やインターネットの光回線が未整備なため、とても不便である。その点について、どう考えているのか伺いたい。

上下水道課長 下水道事業計画区域外については、合併処理浄化槽の設置を推進していきたい。

平田議員 中山間地域の人口減少は高齢化も含めて大きな問題となっている。そこで、人口増や空き家対策として市が取り組んでいる「空き家バンク」の利用状況について伺いたい。

総合政策課長 現在、空き家バンクに登録している物件が52件で、今までに売買が4件、賃貸が17件の契約があった。そのうち市外からの移住者が、8件・26名である。このことから、一定の成果を挙げていると思う。

平田議員 今後空き家が増えてくると思われる



財務課長 光回線については、民間の通信事業者は採算の合わない地域には参入できないという考えが基本にあるようだが、国が、光の道構想という新たな情報通信技術戦略を掲げているので、現在、国・県と協議中である。

平田議員 中山間地域の活性化について、今後この土地をどう守っていくのか、市長の考えをお聞きしたい。

市長 色々な制度を利用して、各地域が持っている資源を有効活用する方法を、地元の皆様方と一緒に考えていきたい。

小・中学校の適正規模と学力向上を

鈴木議員 角田中や合岩中といった小規模校では、教師が不足した場合、担当教科以外の兼務や講師の配置をしているようだ。専門外を教えることや常勤教師ではないこと、生徒に対して学力が保障されているのか、伺いたい。

教育課長 現在の制度では、講師の配置は適正であるため問題はないと考える。

鈴木議員 中学校の統廃合の話がある中、耐震工事などの大規模改修が行われている。もし統廃合が決定した場合、これは税金の無駄遣いになると思うが、いかがか。

教育課長 やはり、今いる生徒の環境を保障しなければならぬことから、無駄ではないと考える。

鈴木議員 先日の議会報告会でも、中学校の統廃合を検討して下さいとの要望があった。少人数の



市長 現実的な選択は4校を2校に思っている。地域の実情を考慮しながら、もう少し時間をかけてどう対応するか考えていきたい。

鈴木議員 豊前市内小・中学校の全国学力調査の結果が公表されているが、この5年間の評価をお聞きしたい。

教育課長 各学校に自己分析をお願いし、その後の取組みについて報告してもらっている。本年度は学力向上推進会議を開き、効果が上がっている点を共有するなどの協議が持たれている。また、教育事務所から指導主事を招いて指導して頂くようになってきている。

鈴木議員 市としても、評価や指導を行い学力向上に向けての対策を考えているようだ。特に小学校では基礎学力が大事であることから、今後も努力してもらいたい。

一般質問

そごが聞きたい・なんとかしたい

『同志会』の一般質問



渡邊 一



爪丸 裕和



福井 昌文

【質問項目】

- ① 少子化対策
- ② 教育問題
- ③ 防災対策
- ④ 高齢化対策
- ⑤ 福祉問題
- ⑥ 農業問題

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いていますので、お気軽にご閲覧ください。

幼稚園の第3子以降も無料化の検討を

爪丸議員 平成25年度から、保育料の第3子以降（戸籍上）無料化が実施される。しかしこの制度は保育園が対象であるため、幼稚園に通っている保護者からは、恩恵がない上に、不公平ではないかと不満が寄せられている。市としての考えは、いかがか。

市長 幼稚園のことも議論してきた。幼稚園については、就園奨励費補助金を交付していることもあり、まずは保育園から実施していこうという結論になった。

爪丸議員 保護者の立場からすると、第1・2子は幼稚園へ通っていたが、第3子からは保育園を選択した方が良いという声が出てくると思う。そうなるも唯一、市内に1園しかない幼稚園の運営自体が危惧されるのではないか。やはりしっかりと議論して検討するべきだ

と思うが、いかがか。

教育課長 それぞれで入園条件や保育の状況、設置目的が異なっている。まずは、保育義務が発生する保育園から実施することになった。また、私立の幼稚園には、国からの補助事業で、私立幼稚園就園奨励費補助金制度

があるため、保護者の負担も軽減されていることから、これらを含めて協議してきたところだ。

爪丸議員 保育園にはなく、幼稚園だけにあるこの補助金制度だが、条件によって対象外になる場合もあるようだ。市が独自で補てんする事も考えてみてはどうか。

市長 市内には無認可保育所もある。今後は、色々なケースを考えながら検討していきたいと思う。



防災・減災のために 早急な対策を

法も分からず、活動していない状況である。市の考えを、お聞きしたい。

総務課長 この組織を立ち上げる時に、資料の配布や職員による説明を行ったが理解しにくかったようだ。今後は、地域防災活動を支援する防災アドバイザーによる指導を行い、自主防災組織の活動強化を図りたい。

福井議員 その中で先の議会でも質問が出ていた防災士の育成について、現在の状況を、お聞きしたい。

総務課長 地域のリーダーとして防災活動ができるよう支援していきたい。まずは資格取得の助成を行うため、予算要求をしているところだ。

福井議員 多種多様な災害に備えた防災・減災対策を早急に取組むべきだ。防波堤・橋梁・トンネルなどの老朽化も懸念されることから、整備・点検等を行ってほしい。

総務課長 議員ご指摘の老朽化している所また、危険な場所については現状を把握し、各課と連携して、早急な対応をしていきたい。

福井議員 そう言ったことで、組織を立ち上げたが、その後の説明や指導が無いため、取組みの方

福井議員 豊前市も災害時における対策を色々と考えているが、各地域で立ち上げている自主防災組織について設置状況と活動内容を、お聞きしたい。

総務課長 市内132か所の区のうち64か所、全体で48.5%立ち上がっている。しかし、組織としての役割が十分に浸透していないようで、地域によって活動に差があるようだ。



東九州道建設による 残地問題の解消を

渡邊議員 東九州道の建設により、不形成な土地や狭くて耕作できない土地が出来てしまい、非常に困っている。これを放置していると耕作放棄地になると危惧しているが、いかがか。

農業委員会事務局長 議員ご指摘の問題だが、所有者に管理をお願いすることや隣の農地と一緒に利用してもらうなど有効利用できる方法を推進していきたい。

渡邊議員 当初、東九州道を計画する時に農地や残地について、業者との合議がなされていたのか、伺いたい。

建設課長 残地補償するという対応を頂いており、所有者の方にも説明を行い、了承をもらっている。

渡邊議員 残地補償があったとしても、こういった土地の利用方法を考える事が行政の仕事だと思

う。農地がだめなら転用して新たな計画を立てるといった対策はできないのか、お聞きしたい。

農業委員会事務局長 残地の大半がほ場整備をした農業振興地域である。そのため、農業以外の目的に利用することは県の許可が認められず難しい

状況である。

渡邊議員 小さい農地でも荒れ放題になると、地域の農地や環境を壊すことになってしまう。市長の考えを、お聞きしたい。

市長 今の制度では対応が難しいため、福岡県に、農業振興地域整備計画の変更や農地転用の許可基準を弾力的な運用にすること、また地域の事情に応じて地方自治体に任せたいという要望を出している。



一般質問

そごが聞きたい・なんとかしたい

『豊友会』の一般質問



磯永 優二



榎本 義憲



鎌田 晃二

【質問項目】

- ① 子育て施策
- ② レアメタルの回収、リサイクルの取り組み
- ③ 持ち家の住宅手当
- ④ 学校教育の充実
- ⑤ 安心して暮らせるまちづくり
- ⑥ 人口減少に歯止めをかける取り組み

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いていただきます。お気軽にご閲覧ください。

子育て施策について

鎌田議員 幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進する目的で子ども・子育て関連3法が成立した。平成25年から「子ども・子育て会議」を設置するようになっていくが、既存の会議を活用するのか、新規に設置するのか、市の方針を伺いたい。

福祉課長 25年度に設置を予定しているが、どちらにするのか、まだ具体的な検討はできていない。

鎌田議員 各種会議では当事者が委員として入っていないことが多い。今回は是非、子育ての当事者をメンバーに入れてほしいと思うが、いかがか。

福祉課長 先般の説明会で、当事者（保護者）もメンバーに加えるよう説明があったので、配慮したいと思う。

鎌田議員 子育て関連3法により認定こども園などの制度が改正される。現在も認定こども園の制

度はあるが、市内で設置が進まなかった理由を伺いたい。

福祉課長 認定こども園は、都市部における待機児童の解消を目的に創設されたと聞く。豊前市のような地方では待機児童がないため認定こども園の普及が進んでいないと考える。

鎌田議員 今回の子育て関連3法によって子育て

施策がどのように変わっていくのか市民は不安を感じていると思う。そのためにも、各自治体は二一ス調査を踏まえて5カ年の事業計画を策定するようになっていくので、しっかりした二一ス調査をお願いしたい。

福祉課長 市民にとっても期待と不安があると思う。二一ス調査に基づいて子ども・子育て会議の中で方向性を出し、国の動向を踏まえながら情報発信をしていきたいと考えている。



安心して暮らせる まちづくりを

と思う。減免できるように、積極的な動きをお願いしたい。

生活環境課長 直接持つて行くの有料ということになりかねないので、いろんな方法を考えたい。

榎本議員 在宅介護手当てについて、要介護者がデイサービス等で留守の間、仕事をしていない人は支給対象で、生活のために仕事をしている人は対象外と聞く。どうしてそのような取扱いになっっているのか伺いたい。

福祉課長 条例では支給対象者を常時介護している同居家族としており、仕事をしている人については常時介護をしている状況ではないとして対象外としている。

では常時介護をしている状況ではないとして対象外としている。

榎本議員 在宅中はずっと介護をしており、留守の間に生活のため仕事をしている状況だ。仕事の有無だけで判断せず、介護の実態により判断すべきと思うが、いかがか。

市長 状況把握ができていないので、調査したいと思う。

榎本議員 豊前市独自の施策のため、市長の判断で条例改正ができ支給が可能だ。定住促進につながるので、知恵を出し、良い方向で実行していただきたい。

生活環境課長 ボランティア団体より申請があれば、市としては減免措置を考えている。しかし、清掃センターは1市2町の施設のため、減免するかどうかは清掃センターの判断になる。



人口減少に歯止めを かける取組みを

榎本議員 豊前市の人口減少に歯止めをかけるには、他の市町村から転入してもらうことが大切だ。そのためには、豊前市に住んでみたいという施策が必要と思うが、市の取り組みを伺いたい。

総合政策課長 新婚家庭家賃助成や空き家バンクなどを掲載したパンフレットを作成してPRに努めているところだ。

榎本議員 先の9月議会でも、保育料の第3子以降の無料化が決まった。また、今回の衆議院選挙で、各党が幼児教育の無料化を公約として打ち出しており、実行されれば保育園が足りないのではと心配している。執行部の考えを伺いたい。

福祉課長 市単独の無料化で園児の人員増は約20人と見込んでおり、その程度であれば受入れは可能だ。しかし、国の方針による大幅な増員となる

市町により「大河ドラマ軍師官兵衛推進協議会」が設立され、官兵衛ゆかりの地の情報発信や観光振興などに取組んでいるところだ。

と保育士の確保が難しい。その時は国・県の協力を得ながら対応をしていきたいと考えている。

榎本議員 中津市が、NHK大河ドラマでの「黒田官兵衛」の放送決定を受け、ロケ地としての誘致に積極的に動いていると聞く。豊前市はどのような動きを考えているのか伺いたい。

まちづくり課長 昨年11月に、京築・大分の関係

榎本議員 築城の宇都宮藩や中津の赤壁などには有名だが、求菩提山にもゆかりの地があると聞く。豊前市も積極的にPRすべきと思うが、いかがか。

市長 築上町は城井城をきれいにすると聞いている。豊前市においても黒田官兵衛に関する歴史や事実関係などをよく研究して、近隣の町々と積極的にPRに努めたいと考えているところだ。



黒田官兵衛

一般質問

そここが聞きたい・なんとかしたい

『無党派』の一般質問



宮田 精一

【質問項目】

- ① 子どもの医療費助成制度
枠の拡大を
- ② 入札制度
- ③ 発達障害児・者への支援
及びアデイクション
(嗜癖) 問題への対応

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いていますので、お気軽にご覧ください。

子どもの医療費助成 制度枠の拡大を

宮田議員 行橋市は来年度から、通院に関する子どもの医療費助成制度を

中学卒業まで拡大する予定だ。京築地区では、みやこ町が高校卒業まで、行橋市・苅田町・築上町・吉富町が中学卒業まで、豊前市と上毛町だけが県制度並みの小学校就学前までの助成となっている。豊前市も助成を拡大すべきと思うが、いかがか。

市民健康課長 医療費助成制度は、少子化対策や子育て支援など有効な施策のひとつと考えられる。しかし、拡大するには多額の財政負担が発生するため十分な検討が必要である。

宮田議員 財政負担ほどの程度なのか伺いたい。
市民健康課長 市の試算では、小学校3年生まで拡大して約1500万円、小学校6年生までだと約3100万円、中学校3

年生までで約4500万円が必要だ。

宮田議員 豊前市の一般会計予算は115億円ぐらいあり、努力をすればできると思う。是非、努力をお願いしたいと思うが、いかがか。

市民健康課長 豊前市はワクチン接種やインフルエンザの予防接種、また、今年から不妊治療や新婚家庭の家賃など、様々な助成を実施しており、そ

の中で財源の振り分けをしている状況だ。

宮田議員 人が定住を考える上で子育て支援などは大変重要な施策だ。京築の他の自治体と足並みを揃えるためにも、子どもの医療費助成枠拡大は実施すべきと思うが、市長の考えを伺いたい。

市長 京築では豊前と上毛だけが、中津も豊前と同様と聞く。財政問題もあるが、医療関係では県を超えて中津と連携を取っているの、中津や上毛と相談しながら検討したいと思っているところだ。



開かれた議会を目指して

議会報告会を開催!!

昨年11月12日～15日に議会報告会を開催しました。

この報告会は、市民の皆さんに議会の中で審議・議論したことについて報告をしたり、市政全般あるいはそれぞれの地域が抱える課題などについて意見交換を行うなど市民の皆さんとの対話を通じて信頼関係を築くことを目的に行うものです。

日時	場所	参加者
11月12日(月)	中央公民館	68人
11月13日(火)	山田公民館	100人
11月14日(水)	黒土公民館	84人
11月15日(木)	合河公民館	72人



今回の議会報告会では、各常任委員会から今まで審議・議論してきたことについて報告をしました。総務委員会からは『宇島駅駐車場使用料金の値下げ』『宇島駅のエレベーター設置』など、文教厚生委員会からは『保育料の第3子以降の無料化』『乳幼児医療費助成制度の充実』など、産業建設委員会からは『耕作放棄地対策』『有害鳥獣対策』などについて報告をしました。

また、各地域が抱える課題や要望についても意見交換を行いました。中央公民館では、『災害時の避難場所』『標高の表示板の設置』など、山田公民館では『角田・山田地区の活性化』『防災組織の充実』など、黒土公民館では『三毛門地区でのグラウンドゴルフ等の競技場の整備』など、合河公民館では『地元の養鶏場の環境問題』『市バス100円運行の実施』などについて活発な意見が交わされました。

それぞれの会場で皆さんからいただいたご意見・ご要望については、今後の議会活動に活かしていきたいと思えます。

それぞれの会場で皆さんからいただいたご意見・ご要望については、今後の議会活動に活かしていきたいと思えます。

議事を傍聴しましょう!!

市議会の様子を知る最もよい方法です。多数の方の傍聴をお待ちしています。

3月議会日程表(予定)	
日時	会議
2月27日(水)	本会議(議案上程など)
2月28日～3月5日	休会
3月6日(水)	本会議(一般質問)
3月7日(木)	本会議(一般質問)
3月8日(金)	常任委員会
3月11日(月)	常任委員会
3月12日(火)	常任委員会
3月13日(水)	常任委員会
3月14日(木)	予備日
3月15日(金)	本会議(採決など)

※議会日程については、変更になる場合がありますのでご了承ください



カラス天狗祭り 被災地東松島市の 特産品販売を支援

第22回豊前市カラス天狗祭りが10月28日（日）にフランスポクぼてんタウンにて開催されました。

カラス天狗祭りには、東日本震災の被災地である宮城県東松島市の特産品販売のブースが設けられました。



カラス天狗祭りで東松島市の特産品を販売する議員

東松島市の復興に少しでも役立ちたいとの思いから、磯永議長をはじめ議員は、そろいの法被を着こみ、販売の手伝いを行いました。

市内外より多くの方が訪れ、店先に行列ができるほどの混雑振り、東松島市から持参した特産品は、昼過ぎには完売してしまうほどの盛況ぶりでした。

なお途中、東松島市の市長も訪れ、予想を超える売上げに感謝をし、喜んでいました。



東松島市の市長さんら（青い法被）と記念撮影

議会運営委員会 視察研修

平成24年10月29日～30日に『議会改革の取組み（主に議会報告会）』について、千葉県流山市と神奈川県茅ヶ崎市で視察研修を実施しました。

両市から、議会報告会実施に至る経過や報告会の具体的な内容について説明を受け、それに基づき質疑応答をしました。

豊前市でも昨年11月に市内4か所で議会報告会を開催しました。



神奈川県茅ヶ崎市での研修風景

編集後記

11月には豊前市で初めての議会報告会。多くの皆さんがご参加くださり、活発な意見が交わされました。議会改革を目指す議員の一員として充実した4日間でした。

市職員時代に行った市内公民館での「後期高齢者医療制度」の説明会を思い出しながら、市政を執行する側からの説明会と、その市政をチェックする側の議会報告会、経験した者でないと分からない複雑で難しいことでした。平成25年度も引き続き開催することについて議論していますので、次回報告会を楽しみにしてください。

若返った豊前市議会、リアルタイムで皆さんに見てもらえるよう議論を重ねています。「豊前市は変わったね」と言われるように。

鈴木 正博

次の定例市議会は **3月** です

議会へのご意見をお寄せ下さい

議会を傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。多数の方の傍聴をお待ちしています。

編集：編集委員会

〈編集委員〉

委員長：尾澤満治 副委員長：安江千賀夫
委員：黒江哲文、平田精一、鈴木正博

印刷：上森印刷所